

News from Hatsutani Chizue

Hatsutani Chizue : A member of Mobera City Assembly

財政健全化計画を策定中！

非常事態を避けるための財政健全化期間：
平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間



今年も宜しくお願ひします
新しい年を迎える皆様、お健やかに佳き新春をお過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、今、茂原市の財政はかつてない深刻な財政逼迫状況に直面しています。

昨年 17 年度予算編成時には、歳入の帳尻を合わせため、売却未定の旧公設市場用地を売却されるものとみなし、11 億 1630 万円を歳入に計上するという異例の予算編成を行いました。あってはならない不健全な処置にたいへん驚きました。昨年 2 月に立ち上げられた財政健全化プロジェクトの財政推計によると、茂原市は平成 18 年度から 22 年度までの 5 年間で約 157 億 5400 万円の財源不足の見込みで、今回更に、来年 18 年度予算編成に 27 億 6700 万円もの不足が見込まれる事となりました。そして、このまま何も対策を講じなければ、平成 19 年度には、企業の倒産に当たる財政再建団体に転落してしまう最悪の事態となる事が分かりました。

これに対して、現在、18 年度から 22 年度までの 5 年間を「財政健全化計画」と位置づけ、第 3 次行財政改革の具体的な取り組みを加速させようと「財政健全化計画」の策定に取り組んでいます。プロジェクトの下部組織として総務・財政・事業の 3 つの分科会を設置し、それぞれ削減目標を設定し、歳入歳出両面から財政健全化を進めるための検討を行い、一部継続して検討を要するものを除き全体的な方針が決定され、更に、全庁的に検討を進めているところです。

昨年 6 月には議会に行財政対策特別委員会が設置され、財政健全化プロジェクトの説明を受けながら、私も委員の一員として調査研究を行い、特別委員会としての提言等も行ってきました。その中で私は「本市は平成 8 年度から数次にわたる行財政改革を実施してきたにもかかわらず、結局このような事態を招いたのは、これまでの行財政改革が根本的な問題を避け、必要な取り組みが遅れてしまったのではないか」と指摘をしております。

これからも、議会の中から、茂原市の財政健全化に取り組んで参る所存ですので、今後共、変わらぬご支援、ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

はつたに ちづえ

特集:平成17年12月議会から

平成17年第4回定例会（12月8日から22日までの会期15）日間）において私が行った一般質問を取り上げます。

● 行財政改革について

Q - ① 当局は財政再建団体転落の回避の手立てを、市町村合併に依存する安易な気持ちがあつたのではないか？本来なら今まで実施されてきた行財政改革のレベル以上の抜本的な改革を、合併の取り組みと並行してか、合併の取り組みより、もっと前に断行すべきであったのではないか？当局の見解を伺う。

A - ① 質問の要旨に対する具体的な答弁はありませんでした。

Q - ② 広域組合の市の負担金は平成17年度も39億円余と負担は大きく、今、財政危機により市民サービスの低下と負担増が顕著となる状況下、住民の理解を得るためにも遅れないとしか言いようのない広域組合の行財政改革を早急に進め、負担金の軽減の努めるべきと考える。広域組合の管理責任者でもある石井市長に見解を伺う。

A - ② 広域組合として平成18度予算編成の中で、物件費・公債費・負担金・補助金等、目標を定め廃止や削減を進め一定の成果を挙げている。今後も市の人件費抑制等をにらみながら、一層、努力をしたい。又、行財政計画を立てて構成団体との一層の連携を取りながら進めて行きたい。

●女性政策について

Q 平成16・3月に「男女共同参画計画書」が策定されて1年後の平成17・3月、元懇話会の委員に、16年度事業の取り組み状況の説明を実施したと聞いている。現在、元懇話会は推進管理としての組織という認識はないようだが、今後、外部の推進管理の組織として位置づけするか、新組織を立ち上げて適切な推進管理を行うようとする事も検討してはどうか？

A 今のところ、外部の方による推進管理の組織の立ち上げについては考えていない。もう少し、状況を見た中で、やがて、数値目標も検討しなければならないので、その点と併せて検討して行きたい。

● 障害者自立支援法について

Q 障害者の福祉サービスを一本化するとともに、利用者に原則1割の負担を求めるなどを柱とする障害者自立支援法が10月末に衆議院本会議で与党の賛成多数で可決。平成18年4月から実施されるとのことだが、障害者の地域における自立した生活の支援について、市としては具体的にどのような方向性を持ち、準備をしていくつもりなのか伺う。

A 自立した日常生活・社会生活を地域において実現して行くためにも、今後、市が行われなければならない事業等については精査をし、安定した事務事業等が実施できるように努力をしていきたい。特に地域生活支援事業が改に市町村事業として定められた事から、今回の法改正がなされた。今後、障害者計画に盛り込みながら、地域で暮らす障害者の自立支援に向けて取り組んでいきたい。

はつたにちづえ公式サイトのお知らせ

はつたにちづえの公式ホームページを平成13年8月に開設しました。

「ちづえだより」で伝えきれない情報はこちらに掲載しています。

アドレスは <http://www.chizue.jp/> です。この他、ヤフー検索エンジンで「はつたに」と入力して探すことができます。


Powered by Internet